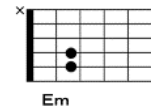
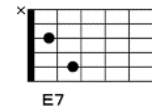
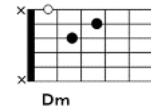
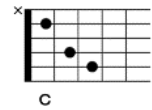
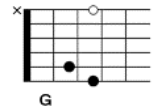
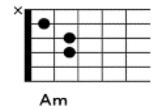


我が良き友よ「かまやつひろし」

作詞、作曲、吉田拓郎



Am G C Dm C E7
 下駄をならして奴がくる 腰に手ぬぐいぶらさげて
 Am G C Dm Em Am
 学生服にしみこんだ 男の臭いがやってくる
 Am C Dm E7
 アー夢よ 良き友よ おまえ今頃 どの空の下で
 Am G Am
 俺とおんなじあの星みつめて何 想 う

Am G C Dm C E7
 家庭教師のガラじゃない 金のためだと言いながら
 Am G C Dm Em Am
 子供相手に人の道 人生などを説く男
 Am C Dm E7
 アー夢よ 良き友よ 便りしたため探してみたけど
 Am G Am
 暑中見舞いが返ってきたのは秋だった

Am G C Dm C E7
 可愛いあの娘に声かけられて 頬をそめてたうぶな奴
 Am G C Dm Em Am
 語り明かせば下宿屋の おばさん酒持ってやってくる
 Am C Dm E7
 アー恋よ 良き友よ 俺は今でもこの町に住んで
 Am G Am
 女房子供に手を焼きながらも生きている

Am G C Dm C E7
 古き時代と人が言う 今も昔と俺は言う
 Am G C Dm Em Am
 バンカラなどと口走る 古き言葉と悔やみつ
 Am C Dm E7
 アー友と よき酒を 時を憂いて飲みあかしたい
 Am G Am
 今も昔もこの酒つげば心地よし

Am G C Dm C E7
 男らしさと人が言う おまえの顔が目に浮かぶ
 Am G C Dm Em Am
 力づくだと言いながら 女郎屋通いを自慢する
 Am C Dm E7
 アー夢よ 良き友よ 時の流れを うらむじゃないぞ
 Am G Am
 男らしいはやさしいことだと言ってくれ

Am G C Dm C E7
 学生達を通りゆく あいつ程ではないにしろ
 Am G C Dm Em Am
 まじめなのさと言いたげに 肩で風切って飛んでゆく
 Am C Dm E7
 アー友よ よき奴よ 今のくらしにあきたら二人で
 Am G Am
 夢をかかえて旅でもしないかあの頃 へ